

平成27年度 南富良野町財務諸表(一般会計等) 概要版【統一的な基準】

貸借対照表(バランスシート・BS)

貸借対照表は会計年度末時点における町の資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側には負債と純資産に分かれ、負債は将来世代の負担額を表し、純資産は過去の世代がすでに負担した額を表しています。

資産の部(これまで積み上げてきた資産)		負債の部(将来世代が負担する金額)	
公共資産	(1)有形固定資産 (事業用資産、インフラ資産、物品)	123億7,896万円	(1)地方債 61億8,066万円
	(2)無形固定資産 (ソフトウェア、その他)	2,405万円	(2)退職手当引当金 3億8,221万円
投資等	(1)投資その他の試算	22億4,768万円	(3)損失補償等引当金 -
	うち貸付金	9,346万円	(1)1年内償還予定地方債 6億5,218万円
	うち基金	20億9,240万円	(2)賞与等引当金 4,296万円
流動資産	(1)資金	1億6,852万円	負債合計 72億5,801万円
	(2)未収金	498万円	純資産の部(現在までの世代が負担した金額)
	(3)基金	8億1,826万円	純資産合計 83億8,444万円
資産合計		156億4,245万円	負債及び純資産合計 156億4,245万円

※表中、表示単位未満は四捨五入のため合計が一致しない箇所があります。

南富良野町の資産と負債の状況

純資産比率・・・53.6%(前年度 54.9%)

総資産に占める純資産の割合を指します。社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合を示します。純資産比率の割合が高ければ高いほど、将来世代への先送りが少ないことになります。

町民一人当たり資産・・・597万円(前年度 593万円)

町民一人当たり公債残高・・・261万円(前年度 249万円)

町民一人当たり行政コスト・・・177万円(前年度 118万円)

平成27年度末人口 2,622人

南富良野町の平成27年度財政運営の総括

- ①業務活動収支(経常的) 5億6千万円のプラス
- ②投資活動収支(資本的) ▲9億2千万円(基金積立、資産形成)
- ③財務活動収支 2億9のプラス千万円(起債償還、将来世代の負担の軽減)

大きな資金が必要となる投資活動収支を、現在の行政サービスに係る収支の黒字等で賄っています。

行政コスト計算書(PL)

人件費や社会保障給付費等の経常的なコストと、それらを使用料・手数料等の受益者負担でどの程度賄っているかを表しています。

経常費用	48億7,039万円
1. 人にかかるコスト	8億2,566万円
人件費	8億4,640万円
退職手当引当金繰入等	▲2,074万円
2. 物にかかるコスト	27億3,348万円
減価償却費	8億1,737万円
その他	19億3,176万円
3. その他の業務費用	8,007万円
支払利息	6,834万円
その他	1,173万円
4. 移転費用	12億3,118万円
補助金等	7億6,114万円
社会保障給付	1億6,422万円
他会計への繰出金	3億3,774万円
その他	208万円
経常収益(使用料、手数料等)	2億1,948万円
純経常行政コスト	46億5,091万円

●新地方公会計制度に基づく財務書類の公表について
平成19年10月に総務省より示された「公会計の整備推進について」(自治財政局長通知)に基づき、人口3万人以上の都市は平成21年度まで、人口3万人未満の都市は平成23年度までに財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書)を作成し、公表することが求められました。

また、地方公共団体単体(普通会計及び特別会計)のみならず、第三セクター、一部事務組合等も含む連結財務諸表により、資産・債務の適正な管理を行い、健全な行政運営に取り組みすることを目的としています。

●財務書類の作成方法
財務書類の作成方法については、平成19年10月に総務省から報告された新地方公会計制度実務研究会報告書の「基準モデル」により平成26年度決算まで作成していましたが、総務省が平成27年1月に公表した「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき平成29年度までに全ての地方公共団体において、統一的な基準による財務書類を作成することが求められておりますことから、今回、平成27年度決算より統一的な基準により作成することとしました。全ての地方公共団体が「統一的な基準」により整備することで、団体間での比較が容易となり、あわせて、固定資産台帳を整備し、事業や公共施設等のマネジメントの促進も可能とする勘定科目体系を備えています。

●法で公表が義務付けられている普通会計の4つの財政健全化判断比率(平成27年度決算)

項目	南富良野町	早期健全化基準
実質赤字比率(%)	-	15.0 道内基準超なし
連結実質赤字比率(%)	-	20.0 道内基準超なし
実質公債費比率(%)	10.1	25.0 道内基準超1団体
将来負担比率(%)	51.4	350.0 道内基準超1団体

純資産変動計算書(NW)

町の純資産が(資産から負債を引いた残り)が1年間にどのように増減したかを表しています。

前年度末純資産残高	94億1,114万円
1. 純行政コスト(純計上費用負数)	▲46億5,091万円
2. 財源	36億2,421万円
税収等	30億3,943万円
国県等補助金	5億8,578万円
3. 本年度差額	▲10億2,670万円
4. 固定資産等の変動	▲4億6,410万円
有形固定資産等	▲5億2,757万円
貸付金・基金等	6,347万円
5. 資産評価差額	-
6. 無償所管換等	-
7. その他	-
本年度純資産変動額	▲10億2,670万円
本年度末純資産残高	83億8,444万円

資金収支(キャッシュフロー)計算書(CF)

金の流れを表すもので、その収支を性質に応じて区分して表示することで、どのような活動に資金を必要としているかを表しています。

1. 業務活動収支(経常的)	5億5,515万円
業務支出	32億8,854万円
業務収入	38億4,369万円
2. 投資活動収支(資本的)	▲9億1,618万円
投資活動支出	9億1,618万円
投資活動収入	-
3. 財務活動収支	2億9,167万円
財務活動支出	6億5,219万円
財務活動収入	9億4,385万円
本年度資金収支額	▲6,937万円
前年度末資金残高	2億3,789万円
本年度末資金残高	1億6,852万円